



# 枚方市総合交通計画協議会だより ~VOL.4~

## 総合交通計画協議会とは



本協議会では、都市や地域が抱える多様な交通に関する課題に対応するため、市民をはじめ関係機関・団体等が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とした「枚方市総合交通計画」を策定します。平成29年8月8日（火）に開催した第4回協議会では、枚方市総合交通計画（素案）と実施プログラムについて議論しました。

### 協議会の開催状況

第1回：平成28年6月7日（火）、第2回：平成28年11月22日（火）  
第3回：平成29年3月22日（水）

### ◆当日の流れ

1. 開会
2. 枚方市総合交通計画の策定について
  - 1) 進捗と現状報告について（前回までの振り返り）
  - 2) 枚方市総合交通計画の素案について
  - 3) 実施プログラムについて
3. 質疑応答
4. その他

### ◆主な議事内容

#### 1) 進捗と現状報告について

枚方市総合交通計画（以下、本文では総合交通計画と表記）策定の背景及び目的、総合交通計画の位置付け、枚方市の将来都市像、現状と課題の整理、総合交通計画の目標（理念と基本方針）について振り返りを行いました。

#### 2) 枚方市総合交通計画の素案について

昨年度の協議会での議論をふまえ、枚方市の現状や交通に係る課題、理念及び基本方針等をまとめた総合交通計画（素案）を提示し、ご意見をいただきました。

委員からの主な意見は以下のとおりです

- ・「多少の不便や負担を分かち合う」という表現については、不便や負担を強調するのではなく、公共交通の良いところや、交通手段に対する考え方の転換、思いやりなどを強調した方が良い。
- ・計画は現状や課題から積み上げる検討だけでなく、計画の理念や方向性を勘案した検討を行うことも大事ではないか。
- ・バス交通を枚方市の骨格をなす幹線交通として

捉ることや、幹線と支線というネットワークとしての考え方を示した方が良い。

- ・高齢者が増えるにつれ、バス交通の利便性向上がますます重要になる。運行本数やエリアのみならず、バス待ち環境の整備なども重要である。
- ・経済や商業の活性化に資する交通面での取り組みや観光等の交流人口増加のための取り組みも検討する必要がある。

#### 3) 実施プログラムについて

総合交通計画の基本方針や、テーマごとに、主な施策、事業実施時期、事業主体等をまとめた実施プログラム（案）を提示し、各委員に内容を確認していただき、詳細については、後日個別で事務局と協議を行っていくこととしました。

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- ・運賃の割引制度や学生運賃の創設など、乗り換えに対する抵抗を下げるための取り組みがあると良い。
- ・計画策定後はPDCAを行ない、状況の変化に対し計画を見直していく必要がある。
- ・インフラの整備よりも、今あるものをいかに便利なものにするかを考える必要がある。
- ・バスを利用してもらうには、人が動くまちづくりが必要。

### ◆次回開催予定

次回は平成29年12月頃に開催する予定です。



編集・発行：枚方市土木部土木総務課

TEL 050-7102-6505 FAX 072-841-4605

E-mail dsoumu@city.hirakata.osaka.jp